

決算補足説明資料

FY23 1Q

2023年5月12日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。
連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY21：2021年12月期

FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY23 1Q 連結業績

- 売上収益及び営業利益は、増収増益で着地。業績予想に対して進捗率が高く推移
- 当期利益は、前期の株式売却益や外貨建て債権の為替の評価益等がなくなり減益
- テイボーは、筆記はアジア及び中南米市場が堅調に推移したが、欧米及び国内市場が停滞し減収。MIMは顧客の生産調整が続き、減収
- AlphaThetaは、引き続き好調な需要に加え、供給が正常化して来ていることから、売上収益及び事業EBITDAともに好調に推移
- JLabは、米国の家電小売市場の縮小が続くなかでも、成長継続

FY23 通期連結業績予想

- 1Qは順調に推移しているものの、今後の不確実性を考慮し、連結業績予想は変更せず

Contents

1. **FY23 1Q 連結業績**
2. **FY23 通期連結業績予想**
3. **トピック**

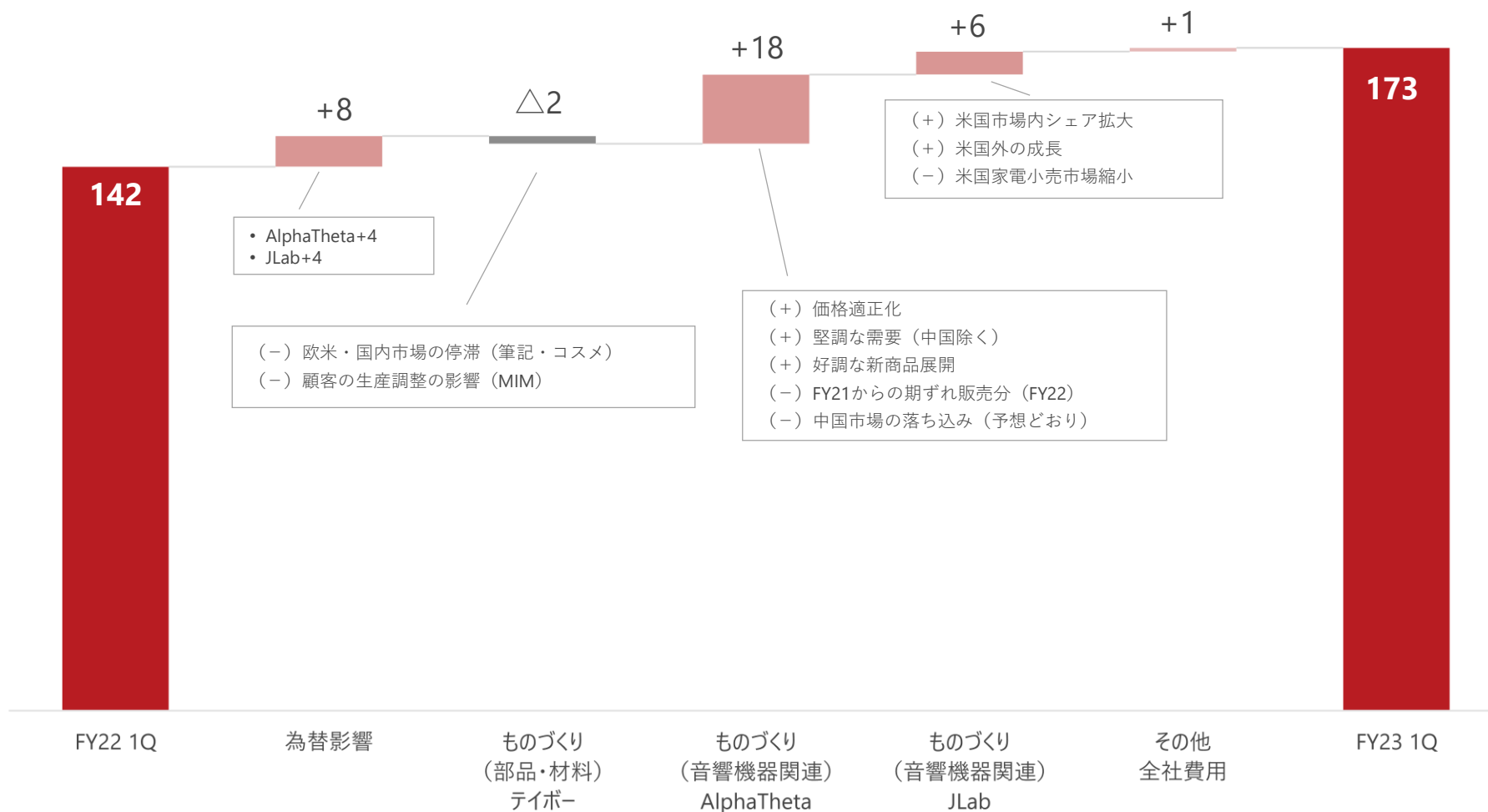
- 売上収益及び営業利益は、増収増益で着地。業績予想に対して進捗率が高く推移
- 当期利益は、前期の株式売却益や外貨建て債権の為替の評価益等がなくなり減益

単位：百万円	FY22 1Q	FY23 1Q	増減額	増減率
売上収益	14,224	17,398	+3,174	+22.3%
事業EBITDA	2,486	2,552	+65	+2.6%
事業EBITDAマージン	17.5%	14.7%	△2.8%	-
営業利益	1,700	2,020	+319	+18.8%
当期利益	100,163	1,051	△99,111	-98.9%
為替レート (平均)	米ドル (円) 116.2	132.3	+16.1	-
	ユーロ (円) 130.4	142.1	+11.7	-
為替レート (期末)	米ドル (円) 122.4	133.5	+11.1	-
	ユーロ (円) 136.7	145.7	+9.0	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

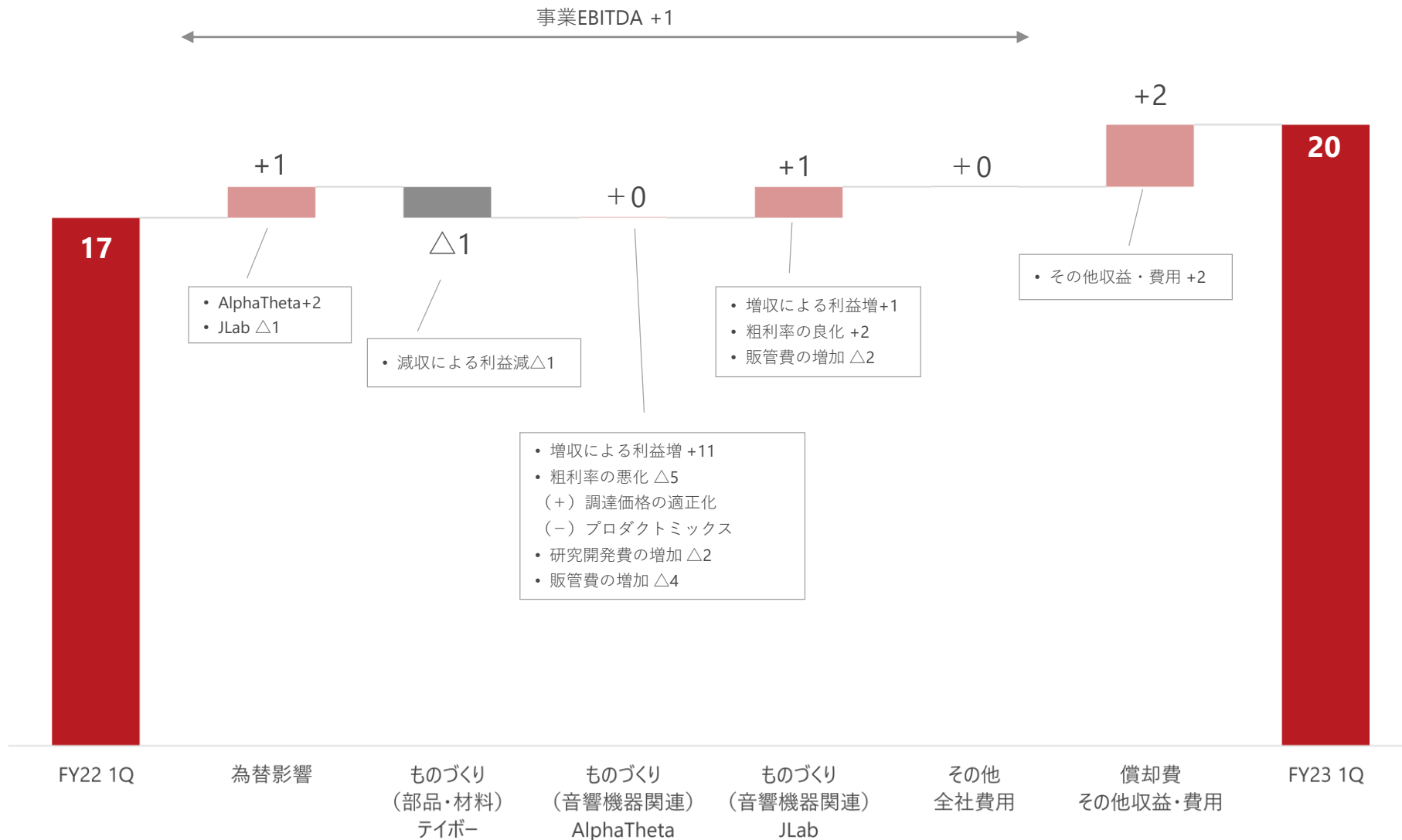
対前年同期

単位：億円



対前年同期

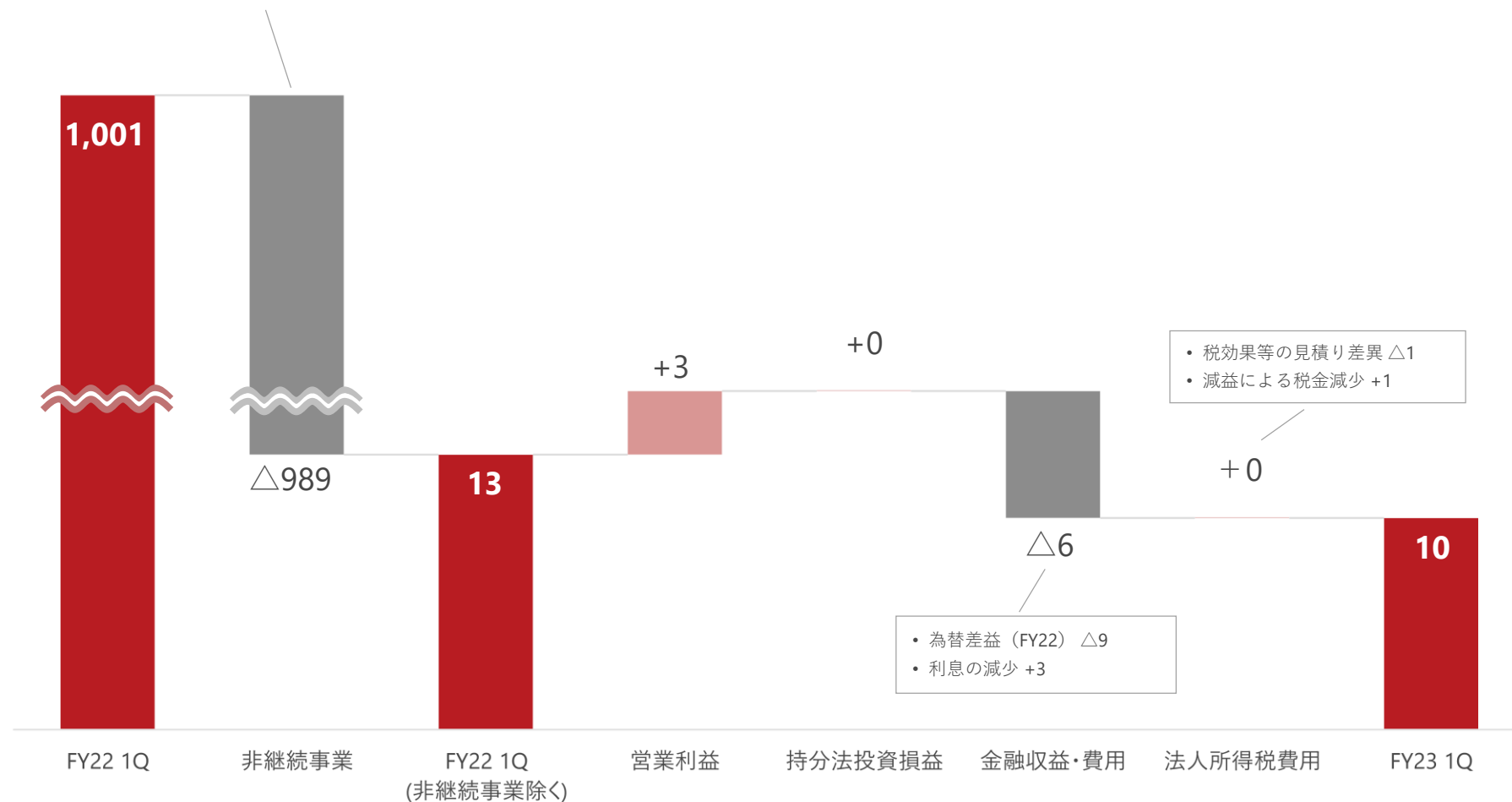
単位：億円



単位：億円

対前年同期

- 非継続事業からの利益 (FY22) $\Delta 990$
- 非支配株主持分 (非継続事業/FY22) +1



- 税効果等の見積り差異 $\Delta 1$
- 減益による税金減少 +1

- 為替差益 (FY22) $\Delta 9$
- 利息の減少 +3

FY22の株式売却益に係る法人所得税費用の支払い等により、現金及び現金同等物が減少するが、財務健全性は問題なし

バランスシート

単位：百万円	FY22	FY23 1Q	増減額
現金及び現金同等物	96,436	58,756	① △37,680
売上債権及びその他の債権	14,834	12,338	△2,496
棚卸資産	16,107	15,474	△633
のれん	48,589	48,650	+60
無形資産	78,302	77,838	△463
その他資産	52,986	59,752	+6,765
資産合計	307,257	272,810	△34,447
仕入債務及びその他の債務	6,296	5,996	△300
借入金	48,054	45,453	△2,601
その他負債	60,038	27,408	② △32,629
負債合計	114,388	78,857	△35,530
資本合計	192,869	193,952	+1,082

財務健全性

有利子負債	48,054	45,453	+2,601
現金性資産	132,200	101,238	△30,961
Net Debt	△84,146	△55,785	△28,360

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物△376億円
 - ・ 営業CF△298億円
 - － 事業EBITDA + 25億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 + 21億円
 - － 法人所得税費用の支払い△351億円
 - ・ 投資CF △4億円
 - ・ 財務CF△75億円
 - － 借入金の返済△26億円
 - － 配当金の支払い△46億円
- ② その他負債△326億円
 - ・ 未払法人所得税の減少△348億円

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY22 1Q	FY23 1Q	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料)	売上収益	3,062	2,856	△206	-6.7%
	事業EBITDA	791	650	△140	-17.8%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	10,895	14,211	+3,315	+30.4%
	事業EBITDA	1,899	2,081	+181	+9.6%
AlphaTheta	売上収益	8,462	10,718	+2,256	+26.7%
	事業EBITDA	2,443	2,659	+216	+8.9%
JLab	売上収益	2,433	3,493	+1,059	+43.6%
	事業EBITDA	△543	△577	△34	-
その他・全社費用	売上収益	266	331	+64	+24.4%
	事業EBITDA	△204	△180	+24	-
連結合計	売上収益	14,224	17,398	+3,174	+22.3%
	事業EBITDA	2,486	2,552	+65	+2.6%

Contents

1. FY23 1Q 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

1Qの進捗率が高く推移、今後の見通しは以下のとおりだが、不確実性を考慮して予想を維持

		見通し
ティ ボー	需要 (筆記)	<ul style="list-style-type: none"> 欧州及び国内市場に加えて米国市場が軟調も、アジア及び中南米の需要が回復
	需要 (コスメ)	<ul style="list-style-type: none"> 欧米及び国内市場の停滞を中国市場の回復でカバー
	需要 (MIM)	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は顧客の生産調整により、引き続き伸びが鈍化 下半期から徐々に顧客の生産調整が落ち着き、再び成長基調へ
	供給	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上及び省エネ等エネルギー削減により、収益性改善に取り組む
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> 物流費の増加は見込まない 原材料・燃料費は引き続き増加
Alpha Theta	需要	<ul style="list-style-type: none"> 1Qは供給の改善により販売が好調に推移。堅調な需要環境は続く
	供給	<ul style="list-style-type: none"> 1Qは前倒しでの生産を実現。2Q以降、通期での増産に取り組む
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> 1Qは予想よりも調達価格の適正化が進み、正常化に向かう
JLab	需要	<ul style="list-style-type: none"> 米国は市場の落ち込みが続くも、新商品展開によりシェア拡大を図る 米国外は堅調に推移、下半期では新たな地域・国への展開が進む
	供給	<ul style="list-style-type: none"> 部材調達難や物流の混乱等は見込まない
	コスト	<ul style="list-style-type: none"> 物流費の増加は見込まない 価格適正化やコスト低減策により収益性が改善

※更新箇所は赤字で記載しております。

2月14日付公表の期初予想から変更なし

単位：百万円	FY22	FY23予想	増減額	増減率
売上収益	73,515	80,000	+6,485	+ 8.8%
事業EBITDA	11,367	12,400	+1,032	+9.1%
事業EBITDAマージン	15.5%	15.5%	+0.0%	-
営業利益	1,262	7,600	+6,337	+502.0%
当期利益	101,548	4,300	△97,249	-95.8%
為替レート (平均)	米ドル (円) 131.4	130.0	△1.4	-
	ユーロ (円) 138.0	132.0	△6.0	-
為替レート (期末)	米ドル (円) 132.7	130.0	△2.7	-
	ユーロ (円) 141.5	132.0	△9.5	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

Contents

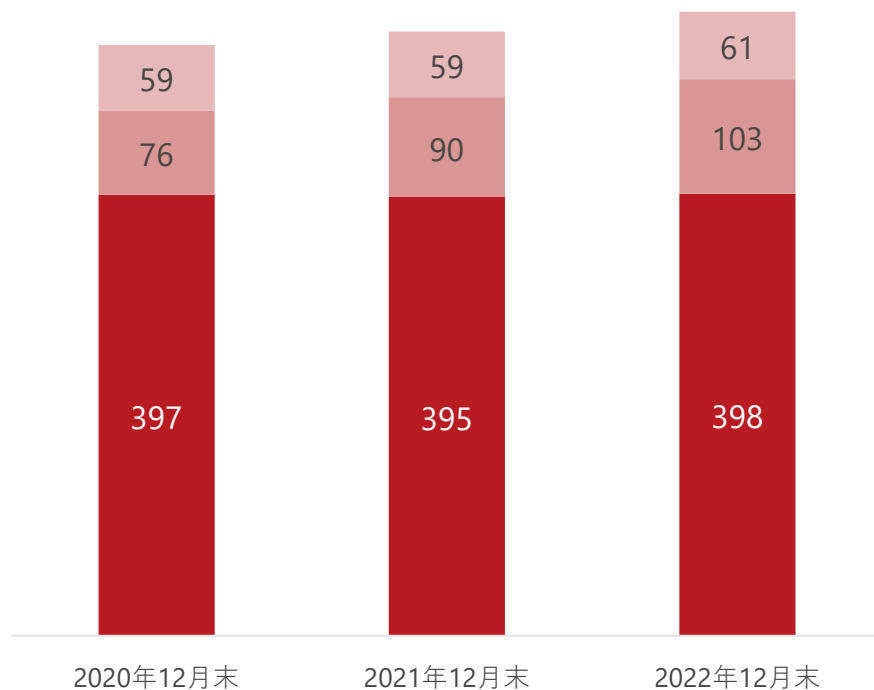
1. FY23 1Q 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

生産体制の強化及び技術力の向上等のため、新卒採用等、積極的に人員体制を強化

従業員数推移

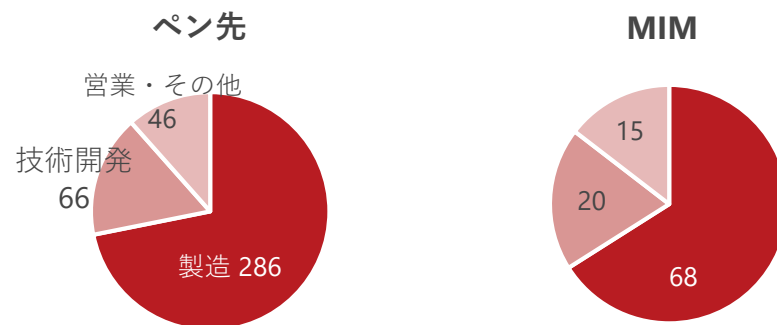
単位：名

■ ペン先 ■ MIM ■ 全社



従業員数内訳

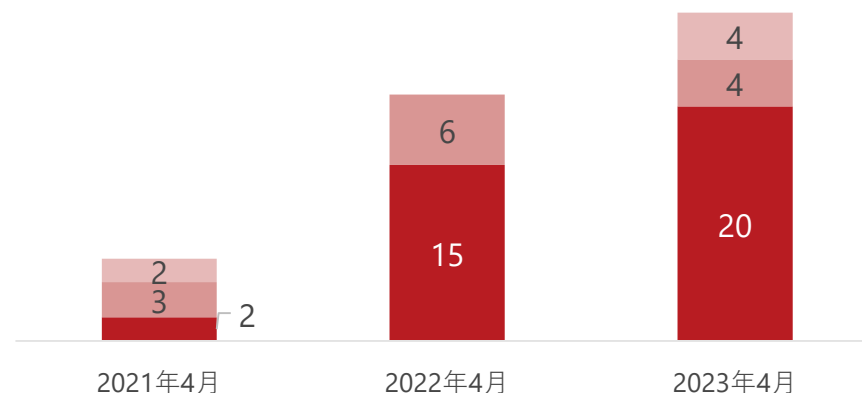
単位：名



新卒採用人数推移

単位：名

■ ペン先 ■ MIM ■ 全社



- DJM-A9：業界スタンダード『DJM-900NXS2』の後継機種
- OPUS-QUAD：進化した演奏性と唯一無二のデザインを融合
- DDJ-FLX10：クイックなライブマッシュアップなどの演奏を可能にする新機能を搭載

■ DJM-A9 (2023年3月)

4chプロフェッショナルDJミキサー



■ OPUS-QUAD (2023年3月)

プロフェッショナル オールインワンDJシステム



■ DDJ-FLX10 (2023年4月)

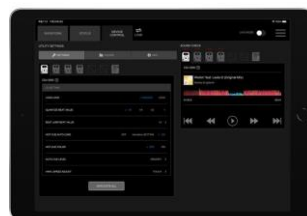
マルチアプリ対応 4ch パフォーマンス DJ コントローラー



世界初のCENTER LOCKを
搭載したSOUND COLOR
FX



DJミキサーとして初のファン
タム電源の搭載によりコンデ
ンサーマイクが直接接続可能



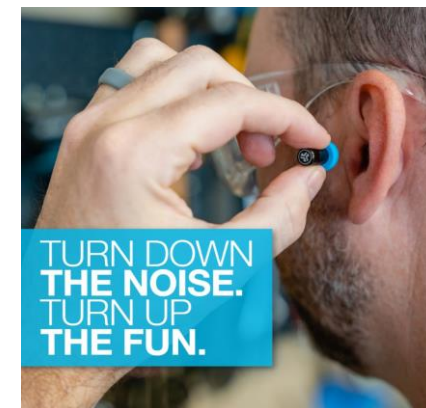
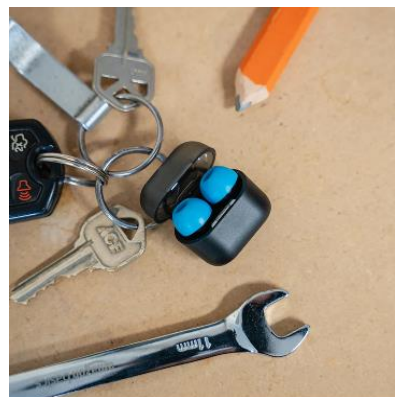
業界初の音響エンジニア向け
PRO DJ LINK管理アプリ
「Stagehand」に対応



新たに参入した「Hearing Health」分野で、聴覚サポートの商品を発売

■ JBUDS PROTECT (HEARING PROTECTION EARPLUGS)

2段階の聴覚保護、スポーツ・コンサート・サイクリングなどに最適なノイズリダクションを搭載



■ JBUDDIES PROTECT (KIDS HEARING PROTECTION EARMUFFS)

耳にやさしいソフトで快適な素材、小さなお子様を大きな音から安全に守る聴覚保護イヤーマフ



Appendix

為替の各事業への影響について

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスに

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

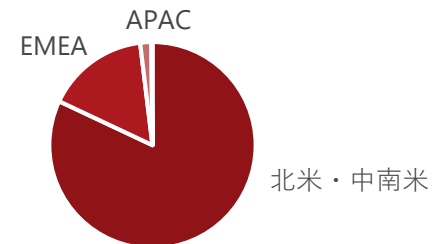
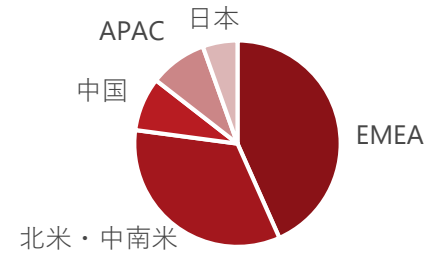
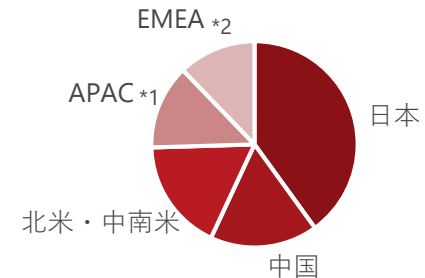
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY22 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

※2023年2月14日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY23予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA/営業利益
米ドル	130.0円	+3.2億円	+0.0億円
ユーロ	132.0円	+1.3億円	+1.1億円

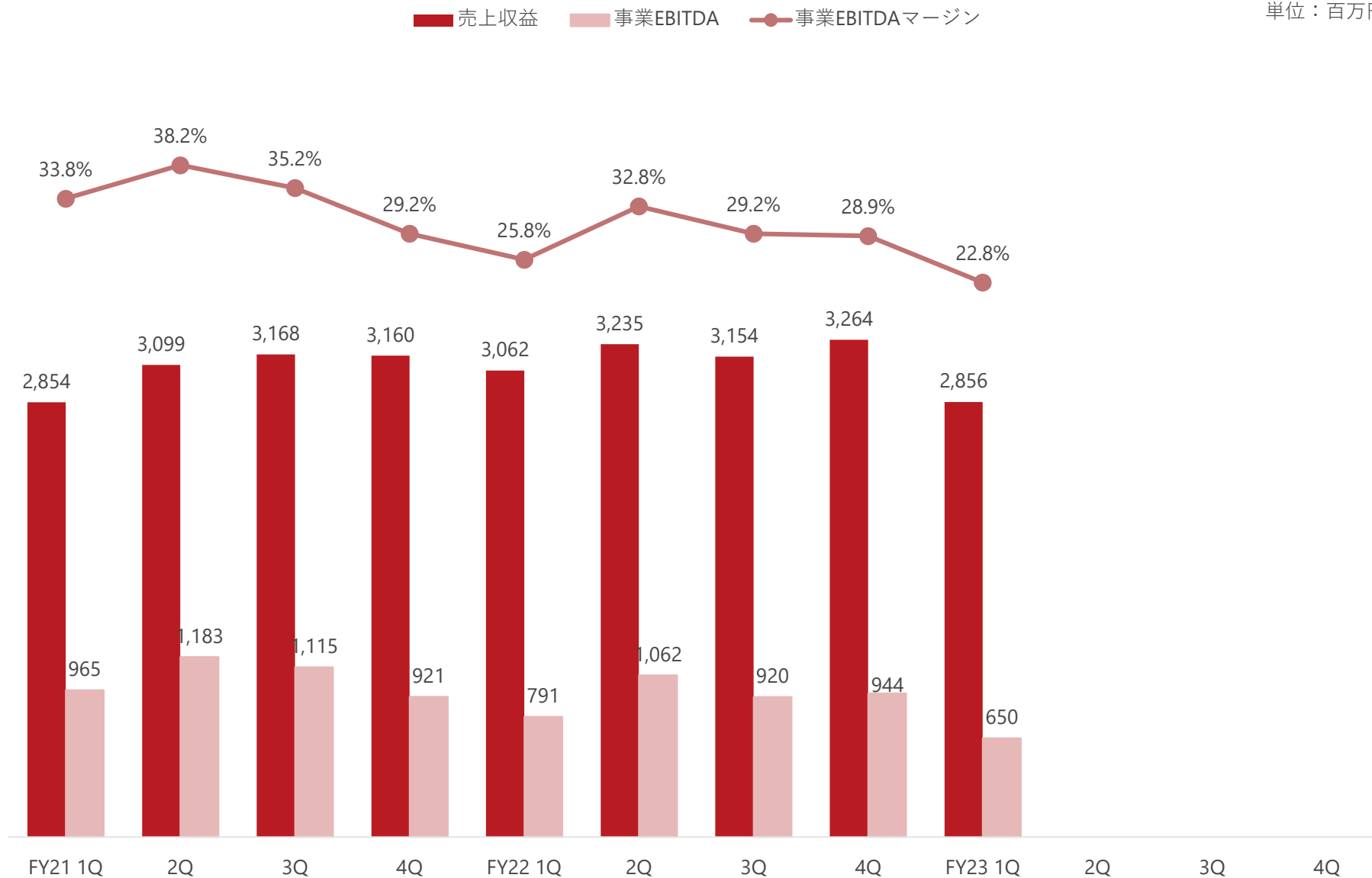
単位：百万円		FY22	FY23予想	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料)	売上収益	12,717	13,100	+383	+3.0%
	事業EBITDA	3,718	3,800	+81	+2.2%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	59,516	65,500	+5,984	+10.1%
	事業EBITDA	8,234	9,500	+1,265	+15.4%
AlphaTheta	売上収益	36,362	41,300	+4,938	+13.6%
	事業EBITDA	6,897	7,700	+803	+11.6%
JLab	売上収益	23,154	24,200	+1,046	+4.5%
	事業EBITDA	1,337	1,800	+462	+34.6%
その他・全社費用	売上収益	1,282	1,400	+118	+9.2%
	事業EBITDA	△586	△900	△314	-
連結合計	売上収益	73,515	80,000	+6,485	+8.8%
	事業EBITDA	11,367	12,400	+1,032	+9.1%

単位：百万円		FY22上半期	FY23上半期予想	増減額	増減率
売上収益		31,536	35,800	+4,263	+ 13.5%
事業EBITDA		5,049	4,800	△249	-4.9%
事業EBITDAマージン		16.0%	13.4%	-2.6%	-
営業利益		3,267	2,400	△868	-26.6%
当期利益		101,121	1,200	△99,921	-98.8%
為替レート (平均)	米ドル (円)	122.9	130.0	+7.1	-
	ユーロ (円)	134.3	132.0	△2.3	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	136.7	130.0	△6.7	-
	ユーロ (円)	142.7	132.0	△10.7	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

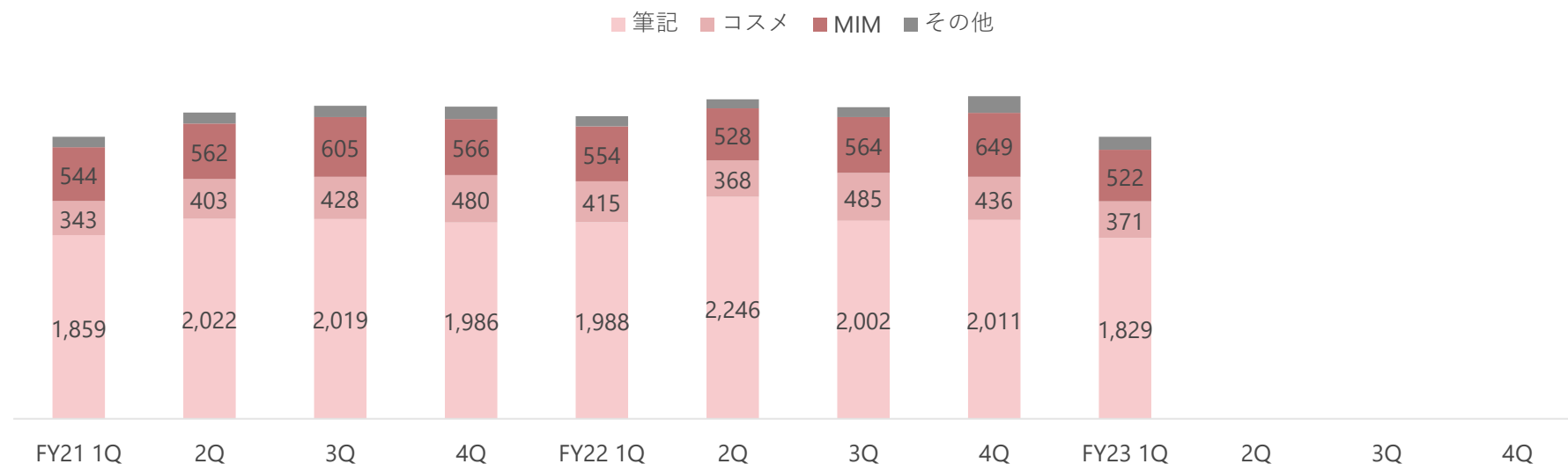
単位：百万円		FY22上半期	FY23上半期予想	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料)	売上収益	6,298	6,300	+2	+0.0%
	事業EBITDA	1,853	1,700	△153	-8.3%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	24,673	28,900	+4,227	+17.1%
	事業EBITDA	3,578	3,600	+22	+0.6%
AlphaTheta	売上収益	16,820	20,100	+3,279	+19.5%
	事業EBITDA	3,897	3,900	+3	+0.1%
JLab	売上収益	7,852	8,800	+948	+12.1%
	事業EBITDA	△318	△300	+19	-
その他・全社費用	売上収益	565	600	+35	+6.1%
	事業EBITDA	△382	△500	△117	-
連結合計	売上収益	31,536	35,800	+4,263	+13.5%
	事業EBITDA	5,049	4,800	△249	-4.9%

単位：百万円



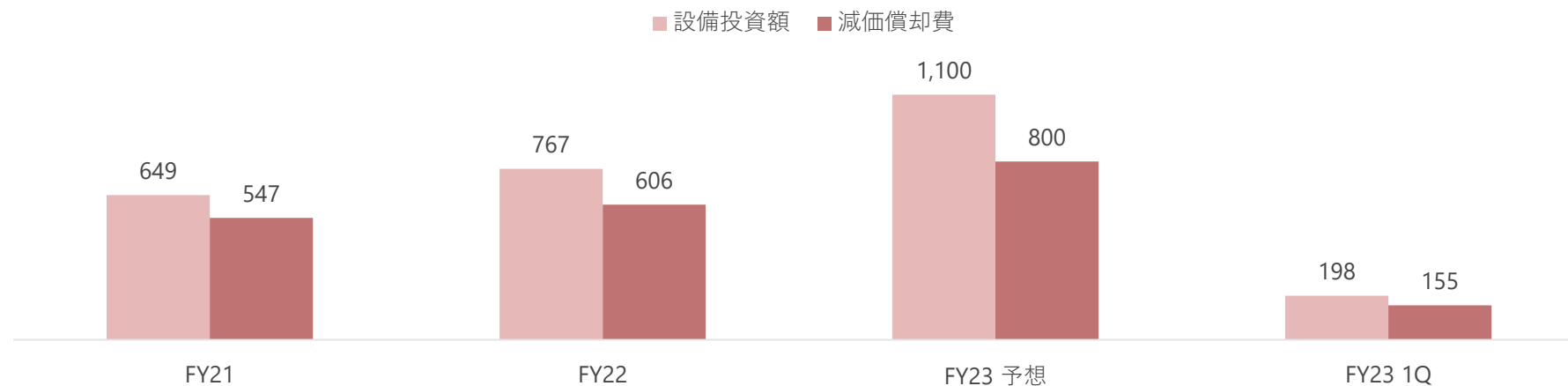
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



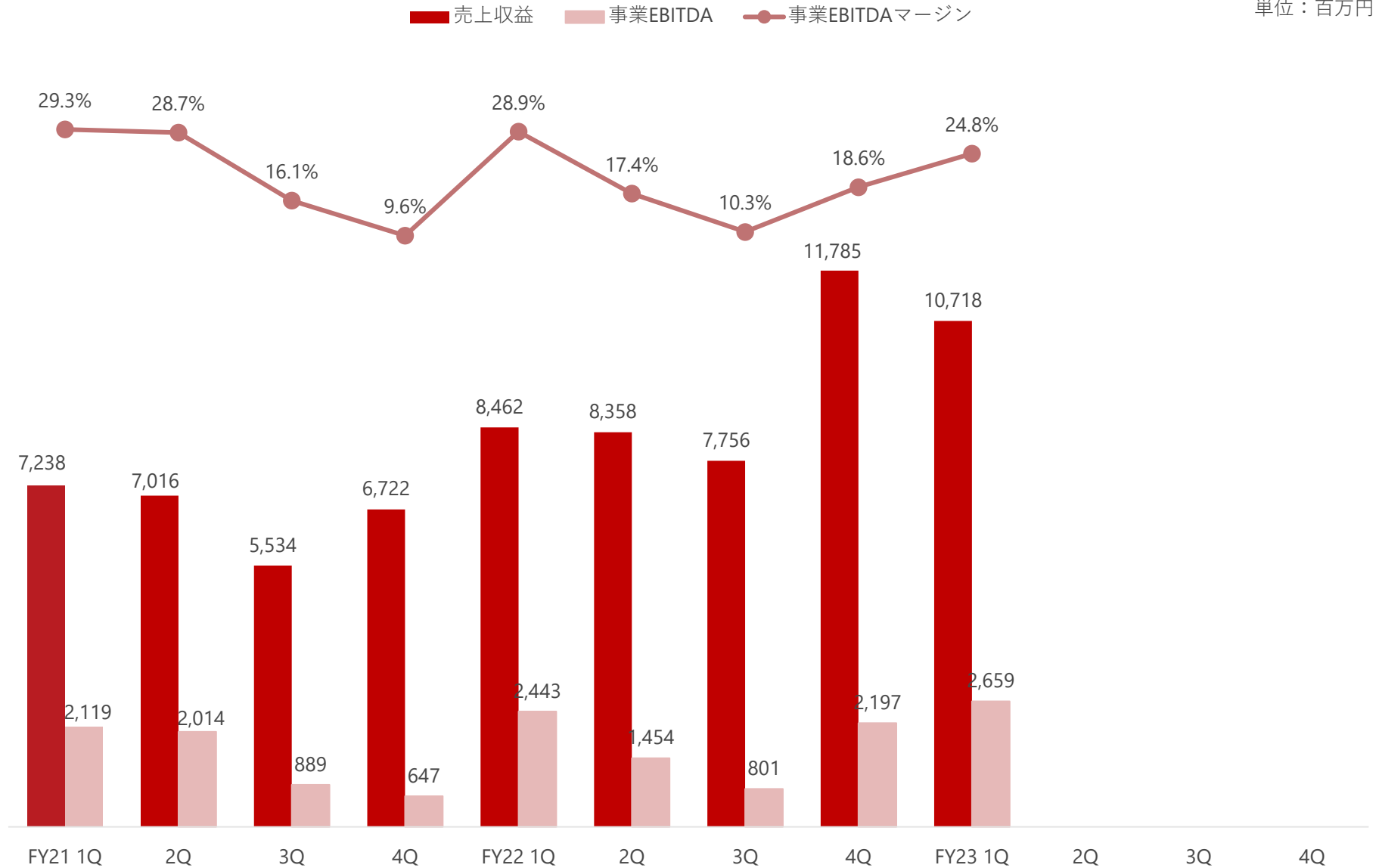
設備投資・減価償却費^{*1}

単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

単位：百万円

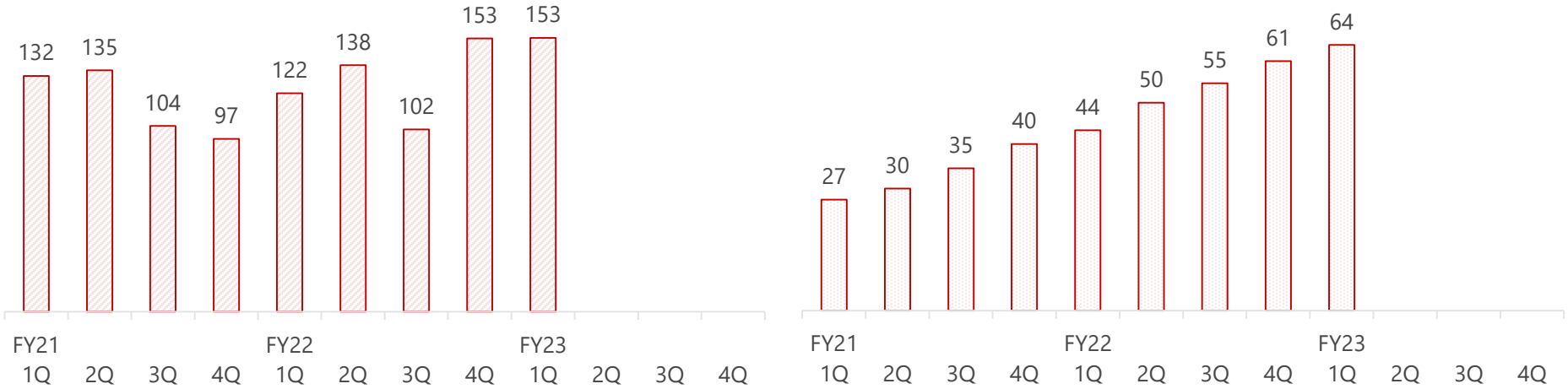


DJ機器出荷台数

単位：千台

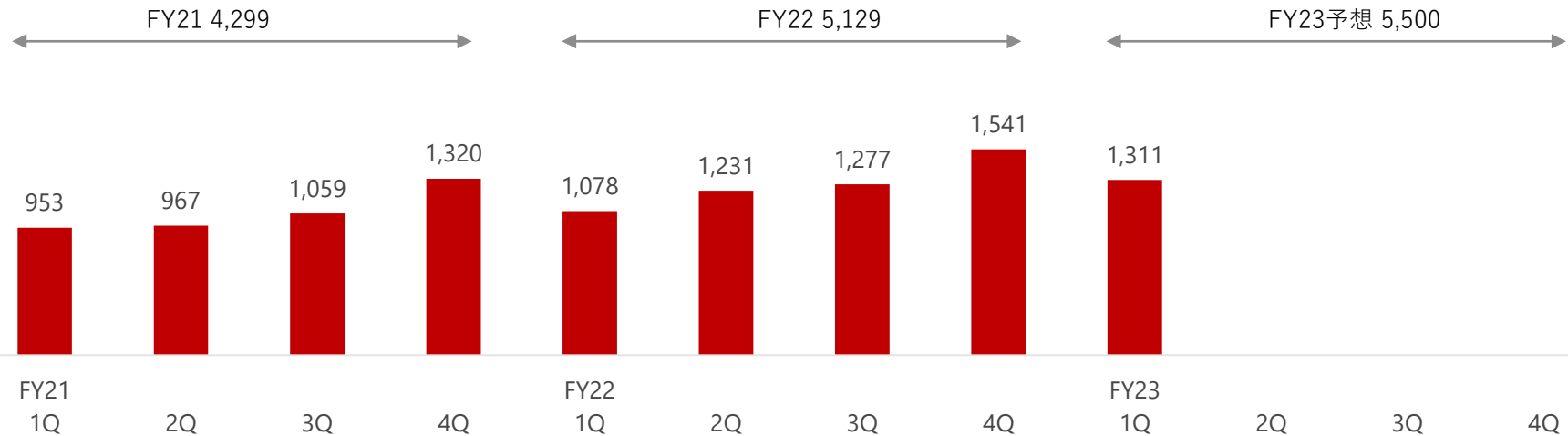
DJ向けアプリケーションMAU *1

単位：万人



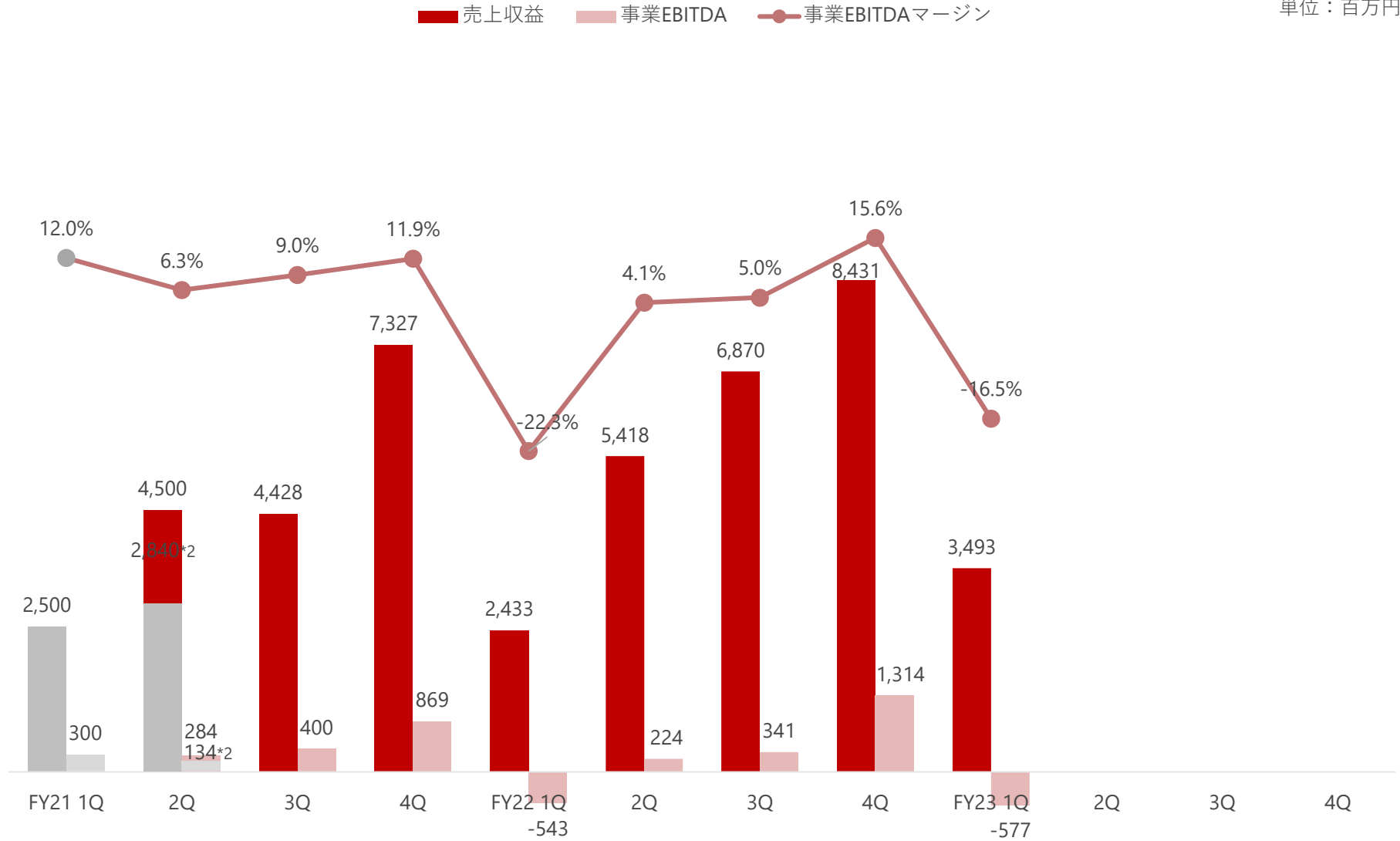
研究開発費

単位：百万円



* FY23 1Qの決算補足説明資料より、recordbox ver.6以上のMAUに変更。MAUはFY21 1Qに遡及して変更済

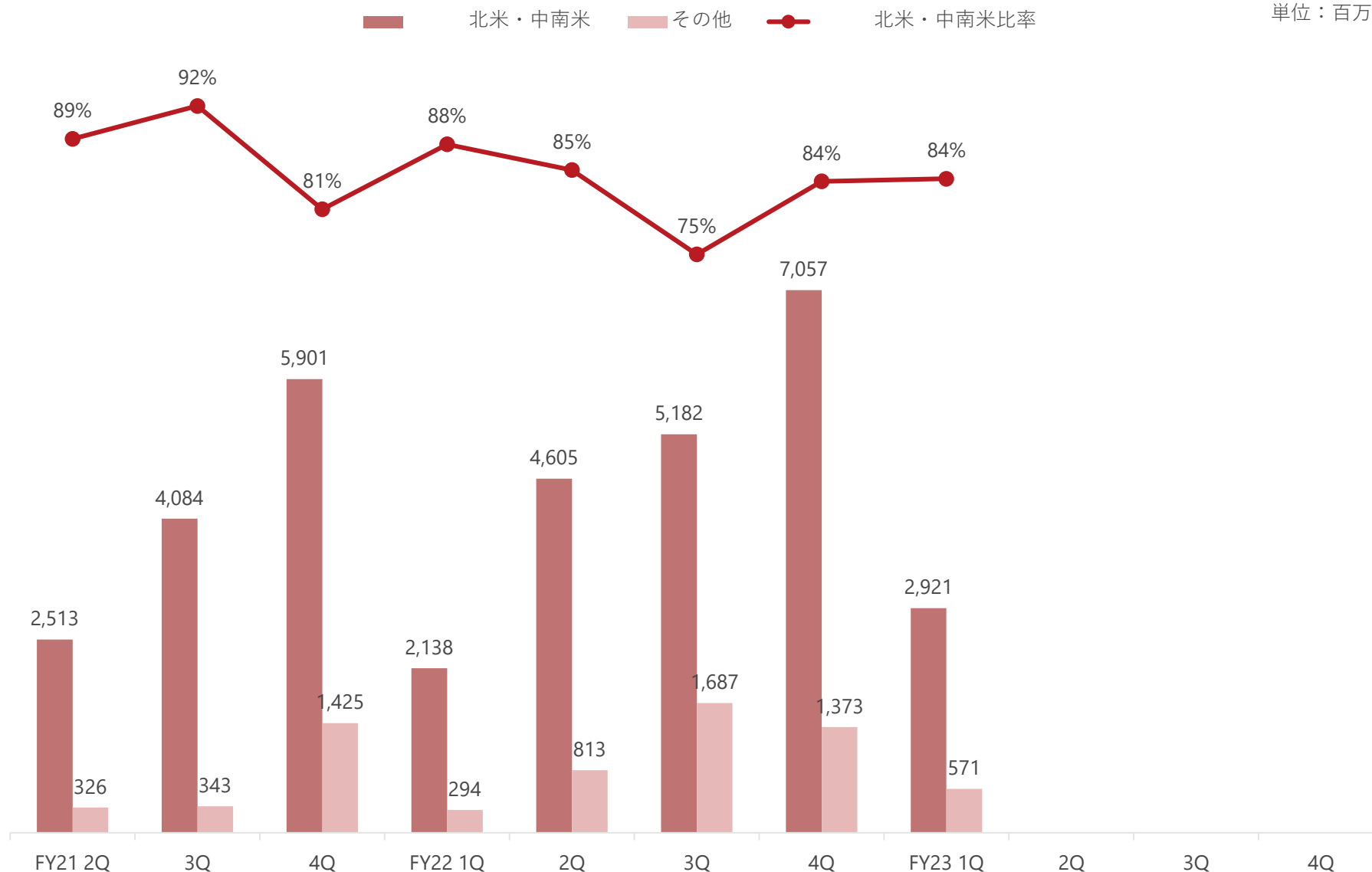
単位：百万円



*1 グレーの期間は、グループ外のため参考値。米国会計基準。1米ドル106円で換算

*2 2021年5月にグループ入りした以降の金額

単位：百万円



*2021年5月にグループ入りした以降の金額

社名 ノーリツ鋼機株式会社（東証プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		伊庭野 基明
	大塚 あかり		高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーキングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer, CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売

NORITSU

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、
これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、
いかなる確約や保証を行うものではありません。